



# ほけんだより2月号

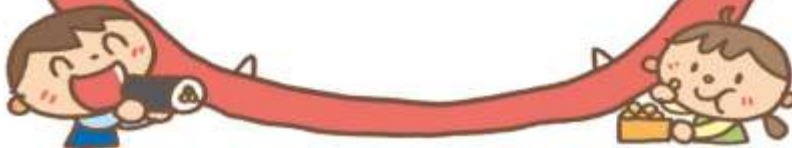
令和7年度

社会福祉法人栗石保育園 保健室



寒さがまた一段と増す時期となりました。  
降り積もった雪の上で思いっきり雪遊びを  
楽しんでいる子どもたちのパワーに圧倒さ  
れる毎日です。

今年度も残り2か月を切りました。インフル  
エンザなどの感染症に負けず、予防に気を  
配りながら過ごしていきましょう。



## お子様の肌、カサカサしていませんか？

子どもの肌は大人に比べて以下の特徴があり  
ます。

- ① 大人に比べて皮膚のバリア機能が未熟
- ② 皮膚が薄く、保水能力も低い
- ③ 皮脂の分泌が少ない

これらに合わせて子どもは自分でかゆみを我慢  
できずに、かきむしってしまい肌が傷つくこ  
とや不機嫌になりがちなのがみられます。

肌の清潔をしっかりと保ち、ご家庭での保湿  
をお願いいたします。(乾燥がひどく、医師の  
指示があり処方された薬に限っては保育園で  
も塗布することができますのでご相談くださ  
い。)また、冬でも肌着の着用をおすすめしま  
す。肌着に関しては綿素材の半袖やタンク  
ツプのものが好ましいです。機能性インナー  
なども暖かいですが、化学繊維でできている  
ため肌の弱いお子様にはおすすめいたしま  
せん。また吸湿発熱を利用しているものもある  
ためより乾燥が進んでしまいます。裏起毛の  
洋服も蒸れやすく熱がこもってしまうため、  
体温調節が未熟なお子様にとってデメリットと  
なります。

お子様のため、保湿や適切な衣類選択にご  
協力をお願いいたします。



## 低温やけどに注意

ホットカーベットや使い捨てカイロに長時間ふれ  
ることで起こる「低温やけど」が増えています。  
痛みを感じにくく、重症化しやすいのが特徴。肌  
が赤くなり子どもが痛がゆく感じていたら要注意。

### 応急処置



痛みが和らぐまで流水で  
冷やす。最低20分くら  
いは冷やし続け、その後  
病院へ。



広範囲のやけどは、冷水で  
ぬらしたシーツなどで全身  
を覆い、シャワーをかける。  
その後病院へ。

